

さんよう広場

第25号

三木山陽病院 広報委員会

平成26年1月

新年明けまして おめでとうございます。



病院長 森田須美春

皆さん今年の抱負はどんなふうになりましたか。私たちの病院の抱負は“人が見てない時こそちゃんとしよう”です。これが本当の信頼への道と思っています。

昨年の中での出来事として大手デパートやホテルでの食材偽装が発覚し、その後連日同様の報道がされてついには全国どこでも同じような偽装が行われていることがわかりました。また宅配業界では“クール宅急便”の荷物の整理や運搬をずさんな温度管理で行っていたことが明るみに出ました。これも他の宅配便でも同じような対応が行われていることが判明しました。温度管理のためのマニュアルはあったようですが、それに基づいて行えば寒すぎて仕事ができないというお粗末なものもあったようで、単にマニュアルを作ることが目的化されていたのかも知れません。残念ながら医学界においても、同様のショッキングなことがありました。高血圧治療薬をめぐる臨床研究において不正があったことが判明し、著名な医学誌に掲載された論文が撤回されるという出来事がありました。

ばれなければ良いとか、人が見てなければ例えルール違反でもよいというところでは、私たちが生きていく上でそのほとんどは契約もない相互信頼のもとで生活が営まれているはずなのに、信頼という根底にあるものが壊れていくようです。こんなにもあれもこれもと発生するということは、これらの事件に関わった個々の人々や組織の特殊性というよりも、残念ながら私たち人間にはそんなところが少なからずあるのかもしれない。

病院や介護施設における仕事も患者さんや利用者さんと1対1になることが少なくありません。誰も見てない時に、どんな態度をとるか、どんな言葉で対応するか、もしかしたら悪魔の誘惑があるかもしれません。実際これまでも全国あちこちで病院や社会福祉施設における高齢者虐待が問題となっており、それを当事者の責任、使命感の欠如という個人の資質、専門性の問題として捉えられがちです。しかしこのことは病院や施設の組織全体で倫理的な重要性と虐待に至る問題点の考察と解決を常に心掛ける必要があると思っています。

私たちの病院やサンスマイル三木ではこれまでもずっと患者さん、利用者さんが何にも増して優先される立場であり、それを前提に自分たちの立場があることをみんなで共有してきました。だめなことはだめなのです。人が見てない時こそ、このことが重要であると思っています。

皆さん方にとりまして今年がより良い1年になりますことを願っております。

三木山陽病院 病院長 森田 須美春



安全管理委員会

安全管理委員会は、患者さまに安全かつ適切な医療、看護、介護を提供することを目的としており、三木山陽病院内全部署およびサンスマイル三木、それぞれの代表者により構成されています。

委員会が中心となり、職員だけでなく患者さま、ご家族さまからの気付きも、全職員で共有して改善に向けて取り組み、より快適に入院生活をお送りいただけるよう活動しています。

お気付きのことがありましたら、いつでもそばにいるスタッフに声をおかけて下さい。

皆様の声を元に、より良い病院に成長していきたいと思っています。



安全管理委員会
標語ポスター

NST委員会

NSTとはNutrision Support Team (栄養サポートチーム) といいます。

当院では、岡本内科医師をチェアマンとし、管理栄養士、看護師、薬剤師、言語聴覚士、理学療法士、臨床検査技師など専門の医療スタッフがそれぞれの知識や技術を持ち合い、連携を取りながら患者さまに最もふさわしい方法で栄養状態を保つことを目的とした医療チームです。

また、当院ではNST通信を定期的に発行し、チーム以外のスタッフも閲覧することで栄養療法に関する知識を高めることに役立っています。

NST委員会を行っていて、入院時は歩くことも食べることもままならなかった患者さまが、口から食事をして歩いて在宅に帰ることができる様になり、チームスタッフの達成感は大きいです。

栄養サポートのプロセスを明確にすることの重要性を認識し、今後も組織的な活動を展開していきたいと思っています。



NST 委員会のメンバー

サービス向上委員会

私達サービス向上委員会が担う役割は、当院の理念とする、**【心と技術の調和した優しく信頼される病院に】**に基づき当院を受診される全ての患者さま、ご家族さまが快適に治療・療養していただけるよう日々患者満足向上を図る目的として結成しています。

主な活動内容としては、

- ① 職員の接遇に関するもの
- ② 院内の環境整備の提供に関わるもの
- ③ 患者満足度調査と待ち時間調査のアンケート実施集約
- ④ クリスマスコンサート等、年間を通じてチーム全体で前向きに様々な意見を交わしながら委員会活動に取り組んでいます。



クリスマスコンサートのポスター

三木山陽病院の委員会活動をご紹介します!

【心と技術の調和した、優しく信頼される病院に】の理念のもと、「より信頼できる医療を提供する」「より患者さまに優しい病院に」という想いで各委員会は頑張っています!

糖尿病教育検討委員会

当院は、日本糖尿病学会の教育認定施設であり、糖尿病治療、教育に力を入れています。その中で永礼医師を中心として看護師、薬剤師、栄養士、理学療法士達が参加する委員会です。

毎月テーマをかえて、委員会のメンバーがオリジナルで作成する糖尿病の患者さま向けに「知って得する糖尿病講座」を発行しています。おかげさまで今年の1月で第80号を発行することができました。

バックナンバーをファイルにして、眼科診察室入口向かって右横の棚に置いています。

診察待ちの間にも眼を通して頂ければうれしく思います。

また、興味のある方は外来スタッフに気軽にお声かけ下さい。



広報委員会

広報委員会です。平成17年8月より広報委員会を発足し、広報誌「さんよう広場」1月号・4月号・10月号を毎年発行しています。

内容としては、病院の案内(診察案内・医師の紹介など)や行事、その時期の旬な話題となっている情報を掲載しています。

広報誌「さんよう広場」は院内の数か所に設置・掲示し、誰でも自由に読むことが出来るようになっています。又、ホームページからも閲覧出来ますので機会があればぜひご覧下さい。



さんよう広場

褥瘡防止委員会

褥瘡とはいわゆる「床ずれ」のことで、持続的な圧迫などにより皮膚組織への血のめぐりが途絶え組織が壊死してしまった状態のことをいいます。

病状などにより栄養状態が思わしくない患者さまに適切なケア・治療を行い、重症化を防ぐこと、早期に治癒することを目的として活動しています。

委員は、金谷医師、看護師、栄養士、薬剤師、理学療法士、ケアワーカー、事務員で構成され、委員会では褥瘡発生状況と経過を報告し、問題点を話し合い、また重症例や深い褥瘡のある患者さまの病室を定期的に訪問し、実際に褥瘡の状態を見ることで、現時点での治療や処置の方法を評価し、意見交換するなど、各担当者が専門性を活かして褥瘡ケアに取り組んでいます。



ご紹介した他に、業務改善委員会や災害対策委員会など各種委員会が頑張っています。



クリスマスコンサート

12月7日、1階ロビーにてクリスマスコンサートを開催致しました。TETSUYA&マイケルさんによるピアノとギターの音色に合わせた美しいハーモニー、LADYBUGさんのフォークギターによる懐かしい歌の数々に、観客の皆様からも自然と歌声がこぼれる心温まるコンサートとなりました。クリスマス気分です素敵な時間を過ごすことができました。



TETSUYA&マイケルさんとLADYBUGさん



消防訓練

当院では、年に2回(5~6月、10~11月)消防訓練を行っています。

火災を特定の部署に想定した消火・避難・通報訓練や病院内に設置してある実際の散水栓を使用しての訓練を行います。

同時に病院内の防火設備の点検も行っています。この他、消防機器の障害となるもの、避難誘導の妨げになるものがないか常日頃から点検を行っています。



消火訓練の様子



ハッピーカードのご紹介

業務改善委員会では、職場でお互いにハッピーになった事を職員に募集しました。今回は、ベストオブハッピーカードをご紹介します。

☆「ありがとう」は魔法のことば☆
スタッフでなにをしても「ありがとうございます」と言ってくれる人がいます。例えば、少しの手助けでも「ありがとうございます」「ゴミを捨ててきてもらってありがとうございます」等々。と…初め、私はたいしたことをしているわけでもないのに(患者さまの為にしているのに…)と思っていました。でも、人は「ありがとう」と言われて嫌な気になる人はいないと思います。だから「ありがとう」はきっと心を豊かにする潤滑油みたいなもの…その人を見習って1日10回「ありがとう」という事を心がけています。そしてみんなでハッピーになりましょう。

お知らせ

このたび、平成25年12月をもちまして、三木山陽病院を退職させていただくことになりました。皆様のご厚情に心より感謝申し上げます。

内科 岡田 有美
外科 針生 智樹

アクセスMAP



医療法人社団 朋優会
三木山陽病院

〒673-0501

三木市志染町吉田 1213-1

TEL 0794-85-3061

FAX 0794-85-3582

<http://www.mikisanyo-hp.com>

E-mail: info@mikisanyo-hp.com